

【ポスター発表】

## 中・四国における児童デイサービスの障害児支援と課題 —児童デイサービスの現状と課題の検討—

○ 四国学院大学大学院 金 美志 (008281)

野崎 晃広 (四国学院大学・05408)

キーワード：障害者福祉、障害児支援、児童デイサービス

### 1. 研究目的

児童デイサービスは、2006年4月から障害者自立支援法が制定され、サービス利用がスタートした。2012年4月からは障害児支援の強化として児童福祉法に移され、新たな局面を向かえている。児童デイサービスでは、子どもに対し日常生活における基本的な指導や訓練を行い、障害のある子どもの自立や自己実現を果すことを目的にしてサービスを提供している。また地域住民とも親密にかかわることにより地域療育の拠点としての役割を果たしている。しかし、児童デイサービスは、運営上の問題や他事業所との連携などいろいろな課題を抱えている。本研究では、児童デイサービスが抱えている現状や課題を明らかにすることを目的に調査を行った。なお、本研究は2012年児童福祉法に改正される前の児童デイサービスに行った調査である。

### 2. 研究の視点および方法

本研究は、児童デイサービスの現状を知るため、2011年7月時点で開設されている中・四国の児童デイサービス203ヶ所のサービス管理責任者を対象として調査を実施した。調査は質問紙によりアンケート法を用いた。なお、アンケートの内容は(1)施設の概要、(2)施設のサービス、(3)職人の勤務、(4)職人の研修、(5)利用者について、(6)新制度について、(7)自由意見になっており、そのうち(Q1)事業活動の収入(Q2)他の事業所との連携(Q3)職員の資格(Q4)資格の有無によるサービスの質の影響(Q5)新制度に対する認識と内容を絞って発表することにした。

### 3. 倫理的配慮

児童デイサービスのサービス管理責任者に対して事前に調査目的とデータ処理方法を事前に説明し、口頭および文書で調査協力の承諾を得て調査を実施した。なお、調査用紙の回収においては匿名による郵送法を用いたが、記名をして返送してくれた方に対しては個人情報が出れないよう留意した。

### 4. 研究結果

アンケート調査の回収率は48.2%であり、調査の結果は図1に示している。Q1をみると「どちらでもない」が38%で一番多く、満足していないのが38%で事業活動に対する収入は比較的満足していない意見が多かった。Q2の結果は、とても必要だと思うが84%で障害のある子どもに一貫したサービスを提供するためには、他領域や他事業所との連携の必要性を感じていることが分かった。Q3の質問は複数回答になっ

ており、保育士74名が一番多く、社会福祉士33名順で福祉関係の資格が多く、資格は  
 いらないと答えたのは4%しかなかった。Q4についてはサービスの質に影響があると  
 答えたのが71%であり、サービスの質に影響がないと答えたのが25%であった。これ  
 らの結果により、現場では資格を求めている傾向があり、利用者が子どもであるため  
 割と保育士の免許を重要にしていると考えられる。また資格の有無によるサービス質  
 の影響はあると考える傾向が多かったが、これは資格の有無より子どもとかかわった  
 経験がサービスの質に繋がっているのではないかと考えられる。最後の質問Q5につ  
 いては、一番多かった意見が「どちらでもない」が61%で圧倒的に多く、新制度  
 についてあまり期待感がないことが分かった。以上、調査研究の結果により、「サー  
 ビス質の問題」、「事業所の運営上の問題」、また「新制度」の3点を課題として  
 取り上げ考察していきたい。

## 5. 考察

本調査の結果から、児童デイサービスは他領域や他事業所との連携ができない現状  
 にある。これは児童デイサービスの歴史が浅いため認知度が低いこともあり、他領域  
 から理解を得られにくい状況である。特に他領域との交流や連携の機会の不足問題が  
 考えられる。一方、有資格者を配置することが支援サービスの質を必ずしも担保する  
 とは限らない現状である。また、児童デイサービスは厳しい運営上の問題を抱えてお  
 り、この問題はサービスの質・人的配置・施設整備に影響を与えると考えられる。新  
 制度について各事業所は大きな変化を期待していない現状がみられ、新制度による根  
 本的な変化はないかと考えられる。本研究は、児童デイサービスのサービス管理責任  
 者を対象にして調査を行ったが、実際事業所を利用する利用者やその家族を対象に入  
 り、比較研究を行うことで研究内容をより深めることができると考える。これは今後  
 の課題としたい。

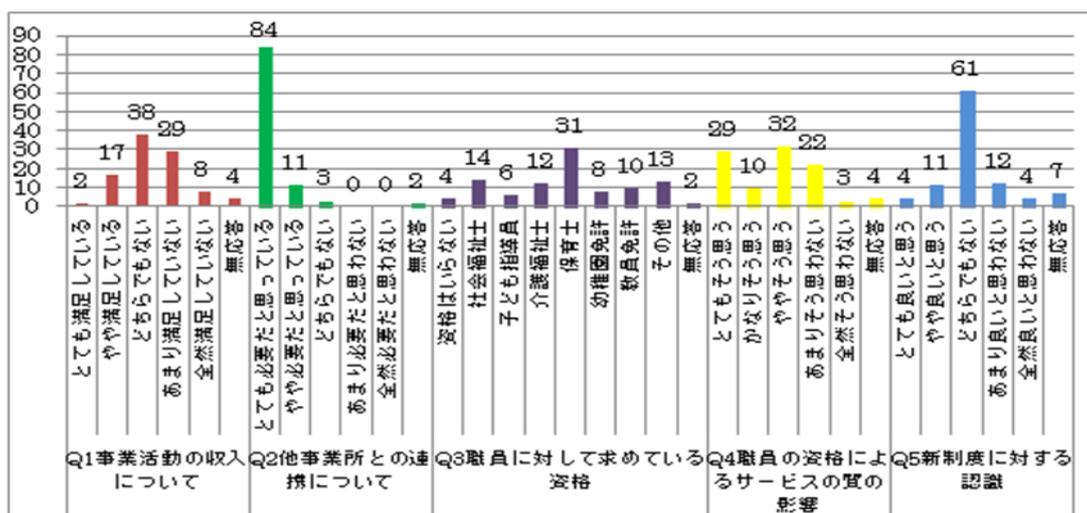


図1. アンケート調査の結果  
 ※Q1、Q2、Q4、Q5の単位は%である。  
 Q3は複数回答により人数を示す。